



「言葉の意味を大切に」1年の始まりに向けて…

校長 岩田 明正

新しい年となりました。令和4年という年はどのような年になるのでしょうか。令和になってから毎年、不安まじりのスタートが続いていたので、今年こそは明るい希望をもって過ごしていきたいものです。

さて、この間、テレビで新年のあいさつ「あけましておめでとう」の「おめでとう」は何がめでたいのかということ解説していました。諸説あるようですが、これは前の年が終わったことに対するの祝いだということ。また、その昔、人の歳は誕生日を迎えての「満〇歳」という数え方ではなく、新しい年ごとに1歳ずつ増えていく「数え年」が使われていて、年の初めは国民全員の誕生日という考え方で「おめでとう」というのだそうです。だから新年あけまして…という言い方は、本来は使わないのだとか（今まで普通につかっていました）。

確かに夜明け、梅雨明けみたいに「明け」は終わることを意味しています。聞いてみると、あたりまえのことですが、今まで意識して使っていたかということそうではありません。新年のあいさつもほぼ反射的に「あけましておめでとう」と言っていました。その意味についてさほど深く考えていませんでした。

いろいろなことがあり、その中には楽しかったこともあれば、つらかったこともある。しかし、なんとか1年を乗り切り、また1つ歳を経ることができた。そのことに対する「おめでとう」なのですね。何気なく見ていたテレビでしたが、言葉は、しっかりその意味を理解して、気持ちを込めて使うことが大事であると、あらためて感じることができるいい機会となりました。

世の中ではWebページやSNSなどで、大量の言葉が発信されています。印刷物や放送なども以前とは比較にならないくらいたくさん発行、放送されており、あちらこちらに言葉があふれています。しかし、その分だけ、一つひとつの言葉が軽んじられたり、本来の意味とは違って使われてしまったりしているような気がします。子どもたちにも、私たち教職員にさえも、その影響が出ており、時々そのことがトラブルにつながったりもしています。私はこのような時代だからこそ、言葉を大事にしなければと思いました。

そこで1年の始まりに際し、今年目標は、まずは自分から言葉を大切にし、その意識を周囲にも発信していくことに決めました。しかし、これは自分だけで取り組むのは難しく、言葉を発している本人では気づけないことも多いと思います。この通信を読んでくださっている皆様にご指導いただくことで、やっと成し得ることと考えています。どうかお力をお貸しください。

最後になりましたが、本年も舞岡小学校をよろしくお願いたします。皆様にとって幸多い1年になりますようにお祈り申し上げます。

【横浜子どもアクションへの取り組み報告】

夏休み前に、右のテーマで、中学校ブロックの4校（舞岡中・舞岡小・柏尾小・東戸塚小）の代表児童が取り組みそうなことについて話し合いました。

また、そのことをもとに舞岡小では各クラスで取り組みそうなことを決め、実践してきました。

テーマ **想** ～相手と心から向き合うための取組～（26年度から）

横浜子どもアクション

- 一人ひとりにできること
「自分からコミュニケーションをとり、相手と分かり合えるようにします」
- 学校でできること
「絆を強めるため、お互いの気持ちを伝える活動をします」
- まちの人とできること
「まちの人と関わるきっかけをつくります」

令和3年度「横浜子どもアクション」の具体の取組 「想」～相手と心から向き合おう～

テーマ「だれにとっても居心地のよい学校づくり」

「だれにとっても居心地のよい学校づくり」のために各クラスで、こんなことに取り組みできました。

1年

○1組

「やさしくつたえることば」について、自分もまわりも大事にする言葉かけを日常の中で意識してきました。友だちへの伝え方のデモンストレーションをしたり、30秒トークで安心して話す経験を重ねたりしてきました。

○2組

子どもたちで決めたことを、たしかめながら取り組んでいます。ゴミが落ちていても見過ごしてしまう時も多いですが、ゴミ拾いをして居心地の良いクラスを目指して努力しています。

○3組

じぶんが正しいとおもうことを考え、進んで行い、もし失敗したら責めるのではなく、なぜかを考えていくクラスにしようと話し合いました。図書室でじぶんから本を並べたり、給食の片付けを進んで行ったり、友達を助ける姿が見られています。



2年

○1組

友だちの輪を広げられるように他己紹介し合いました。自分だけが知っている〇〇さんのいいところ・とくいなこと・がんばっていることなどをカードに書き込み、だれのことかクイズにしました。当たっても外れても、みんなあったかくなるクイズになりました。



○2組

ふわふわことばとちくちくことばをみんなで考えました。だれとでも仲良く力を合わせて、楽しく活動することができました。



4組

「こんなとき、どうする？」をテーマにソーシャルスキルトレーニングに取り組んでいます。一つの場面を題材にして、自分ならどうするのかを相手の立場になって考えています。ロールプレイを通して、友達と気持ちよく過ごすためのコミュニケーションについて考え、日々の学校生活のなかで実践できるように練習しています。

また、自分の気持ちを言葉や文字で伝える活動を朝のスピーチや、国語の学習で書く学習に取り組んでいます。経験して学んだことを生かして、楽しい学校生活を送る子どもたちの様子が見られます。



3年

〇1組

「最高にうれしいあいさつ大作戦」として、相手を意識したあいさつを心がけてきました。自分たちのあいさつの様子について考え、その日に意識できたことをシールで表し、次の日に生かせるようにしています。うまくいかないこともあるけれど、相手にとってうれしくなるようなあいさつを自然に実践できる場面が増えてきました。



〇2組

「クラスみんなで遊ぶ時間を作ればよいのではないか」という案を基に、月ごとにメンバーを決めてオリジナルのカレンダーを作成し、休み時間やクラスタイムを使って遊びを計画しています。遊びを計画し、実行することで得られる達成感や、友だちと一緒に過ごすことの楽しさを感じています。



4年

〇1組

「誰にとっても気持ちのよい言葉遣いができるようになろう」ということを日常から心がけてきました。授業の中での教え合いの場面などは、もともと優しい声かけができるクラスですが、休み時間など、仲の良い友達とだどついつい言葉が乱れてしまうこともあります。親しき仲にも礼儀あいを意識することで、相手の思いにも考えがいたる場面が増えてきました。



2組

「協力し合う」ことで居心地のよい学校になるのではないかと考えました。そのために、相手のことを理解する。声をかけあう、相手の様子や話を聞くことを大切にしてきました。クラスだけではなく、下級生との関わりがもてるように、授業の時間に交流する時間を設け、異学年との関わりも大切にしています。

5年

〇1組

自ら進んであいさつすることや、他学年との交流を意識して行いました。振り返りでは、昨年度よりあいさつできるようになった、下級生と休み時間遊んでいる、委員会活動を通して周りに声をかけているなどの意見が出されました。クラスではおもしろ健康観察を行い、友達の新たな一面を知るきっかけとなっています。



〇2組

登下校の際に門や昇降口で会った先生や、廊下で会った時に自分からあいさつすることを心がけました。また、休み時間に下級生と触れ合ったり、上郷宿泊体験学習を通し、4年生とも協力したりして活動しました。積極的に他学年との関わりをもっています。

6年

〇1組

朝の会や5時間目が始まる前に、継続して「さいころフリートーク」を行っています。お題をもとにグループで話しながら、互いの新しい一面を知ったり、他のグループで話題に出た話を伝え合ったりして、楽しい時間を過ごしています。また「係で計画レク」も毎月取り組んで、みんなで楽しい時間を共有し合い、心のつながりを実感しています。



〇2組

みんなが仲よく過ごすための活動として、係で企画したクラスレクを行っています。「みんなが協力して楽しめる遊び」をテーマにして、係ごとに計画・実施することで居心地の良いクラスづくりにつながっています。また、あいさつの輪を広げるために、登校班や学校内でも、進んであいさつすることを心がけました。

児童支援専任より

舞岡小学校のホームページに、「校外だより」を掲載しています。校外役員の方々が、子どもたちのことをどれほど大切に思って活動してくださっているのかが、伝わってきます。是非ご一読ください！